

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会に適用する規則は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。

また、競歩競技では、競歩審判員主任単独による失格権限を適用する。

※競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、踵より前底部の靴底が厚いワールド競技用シューズについては TR5.2 の適用を除外する。

2 練習について

練習はすべて補助競技場を使用する。また、公園内での投てき物を持っての練習、ゴムチューブ、ミニハードル、ラダー及びメディシンボール（ロープ付きを含む）等を用いてのウォーミングアップについては一切禁止する。

3 招集について

(1) 場所はバックスタンド下雨天練習場に設ける。

(2) 種目別の開始時刻、完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 手順

① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・腰ナンバー（左右両腰につける）・スパイク・ランニングシューズの確認・点検を受ける。

② 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼を（アスリートビブス・腰ナンバー・スパイク・ランニングシューズなどの確認）を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理を認める。

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないものとみなし処理する。

(5) 当該種目を欠場する者（チーム）は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。

4 競技について

(1) レーン順、試技順はすべてプログラム記載の番号順とする。準決勝、決勝の組合せはすべて番組編成員が行い、場内スクリーンに表示するとともに WEB ページ上に掲載する。（掲示板への掲示は行わない）

(2) 競技結果については場内アナウンスおよびスクリーンで発表するとともに WEB ページに掲載する。（掲示は行わない）なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点を正式発表とする。

(3) イエローカード（以下、YC）について

① WA 競技規則 CR 18.5 の規定により、TR 6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームに YC を提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。

② 同一種目で2回の YC の提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YC を提示の累積は、当該種目のみに適用する。

(4) リレーオーダー用紙の提出について

各リレー種目のオーダー用紙は、すべて1日目の学校受付時に配付する。

ラウンド	提出先	提出時刻
予選	招集所入り口付近の競技者係	1組目の招集完了時刻の2時間30分前から1時間30分前まで
決勝	同上	招集完了時刻の1時間10分前から40分前まで

決勝のオーダー用紙は競技者係で受け取り、必要事項を記入し必ず提出すること。

なお、リレーオーダー用紙の記入例をプログラム巻末に掲載しているので、参考のうえ間違いのないように記入すること。

(5) トラック競技においては、左右両腰に腰ナンバーをつけること。（リレー種目の第4走者を含む）なお、4×400mにおいては、第2・3走者は右腰にのみつけること。5000m、3000m、5000m競歩は別（胸、腰）ナンバーを使用する。また、1500m、3000m SC は別（腰）ナンバーを使用する。

5000m、3000m、男子5000mW はグループスタートで行う。

競 技 注 意 事 項

(6) トラック競技における次のラウンドへの進出について

- ① (+ α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、1/1000秒単位で優劣の判定をする。
 (ア)レーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の競技者の進出を認める。
 (イ)レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。
- ② 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、+ α での進出者数を減らす。
- (7) 競技運営の都合上、5000m競歩では、男子は30分、女子は35分で競技を打ち切る場合がある。
- (8) 各種目3位まで(走高跳・棒高跳は上位3名、リレーは6位まで)に近畿大会出場資格が与えられる。ただし、走高跳・棒高跳において3位が2名以上の場合は、近畿大会への出場資格決定戦を行う。
- (9) リレー競走においては、出場者は同一のユニフォームを着用する。ただし、デザイン・配色が同一であれば、形は問わない。
- (10) フィールド種目において競技運営の都合上、計測ラインを設ける。(ハンマー投を除く)

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) 棒高跳用ポールは、自己のものを使用する。保管場所はバックスタンド雨天練習場とする。
- (3) やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。その際の検査場所および検査時刻は下記のとおりとする。

検査場所・・・100mフィニッシュ側 用器具庫裏競技場外

検査時刻・・・1年男 第1日 8:25～8:40 1年女 第1日 15:00～15:15
 2年男 第1日 10:45～11:00 2年女 第1日 13:20～13:35

6 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

走 高 跳	1年 男子	決勝	(練)1m50	1m55-60-65-68-71-74-77-80.....
	2年 男子	決勝	(練)1m60	1m65-70-75-78-81-84-87-90.....
	1年 女子	決勝	(練)1m25	1m30-35-40-43-46-49-52-55.....
	2年 女子	決勝	(練)1m35	1m40-45-50-53-56-59-62-65.....
棒 高 跳	1・2年 男子	決勝	(練)2m40 ～4m50	2m40-50-60-70-80-90-3m00-10-20-30-40-50 -3m60-70-80-90-4m00-10-20.....
	1・2年 女子	決勝	(練)1m80 ～3m00	1m80-90-2m00-10-20-30-40-50-60-70-80-90 -3m00-10-20-30-40-50-60.....

※ 1位決定・近畿大会出場資格決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

7 種目別表彰について

種目別3位までの表彰を行う。成績発表後直ちにロビーの受賞者席に集合すること。

(他種目に出場中の場合は代理人を出す)

リレー競技の4～6位は賞状を表彰係まで受け取りに来ること。

(近畿ユース大会申込みの自己最高記録確認用紙及びリレーメンバー記入用紙を受け取ること。)

8 その他

- (1) 競技中、競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。なお、フィールド種目に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所で見ると、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (2) 競技エリアに日傘、折りたたみ椅子、大型クーラーボックス等、競技運営や他の競技者に支障をきたす恐れのある物を持ち込むことはできない。
- (3) 写真撮影を希望する学校は、総務の許可を得て、1校1名に限り撮影を認める。

- (4) 競技場内での応援・横断幕については申し合わせ事項による。
- (5) スタンド、更衣室は常に清潔保持につとめ、ゴミ等は必ず各校で持ち帰ること。
- (6) 競技場内、サブトラック内では日傘の移動しながらの使用は安全確保の観点から禁止する。
- (7) 表彰式後、近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会の出場校顧問打合せを行う。

撮影に関するお願い

本大会における撮影は、保護者、学校・チーム関係者及び主催者が認めた報道関係者に限らせていただきます。なお係員が身分証明書などの提示や競技場内で撮影したすべての写真・動画を確認させていただく場合がありますのでご了承ください。



<保護者の皆様へ>

一眼レフ、ミラーレス等望遠レンズを使用するカメラでの撮影を希望される方は、お子様の日本陸連登録会員証をカードフォルダーに入れ、首からかけてください。(スマホでの撮影には必要ありません。)かけておられない場合は競技役員、ガードマンから声を掛けさせていただきます。

<学校関係者の皆様へ>

総務から許可を得てビブスを着用してください。各校 1 名のみ認めます。

(総務に申し出る場合は顧問が行うようにしてください)

盗撮防止の観点からご協力お願いいたします。